



# アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,267戸  
●人口 ……3,839人  
男性/1,889人 女性/1,950人  
令和6年1月31日現在

## 集いの中でたくさん笑いがありました

### 出東ふれあいサロン

9月 7日(木)27日(木)

9月のサロンは、Link\*wsのかすみさんを講師に、小さな軽石に多肉植物の寄せ植えをしました。テントウムシの飾りをつけたり、多肉の可愛さに癒されました。



10月 5日(木)25日(木)

10月のサロンは、なのはな園の理学療法士の吉岡さん、河合さん、山根さんを講師に「姿勢と健康」の話を聞きました。姿勢が崩れると起こる悪いことや元気な状態で長生きするには?などの話をみなさん真剣に聞いていました。



11月 2日(木)22日(木)

11月のサロンは、柳楽輝子さんを講師に懐かしの童謡などをみんなで歌いました。みんなで声を合わせて歌うことは、認知症や病気の予防になるそうです。しっかり口を開けて歌いました。



12月 7日(木)20日(木)

12月のサロンは、第1部で斐川交番の星野さん、浅野さん、佐々木さんに特殊詐欺の話を聞き、第2部では、金太郎の家の稲垣さんによる楽しい話とマジック体験をしました。ハッとする体験にドキドキ楽しみました。



毎回サロンでは、健康推進員さんと佐野あつ子さんを講師に、和気あいあいとした軽い体操を行っています。

みなさんも出東ふれあいサロンに参加しませんか! 詳しくは、コミセンまでお問い合わせください。

2月 1日(木)28日(木)

2月のサロンは、明治安田生命さんを講師に、睡眠の大切さの話を聞きました。



## 4月 出東地区 行事予定

- 8日(月) 出東小学校・斐川東中学校始業式
- 9日(火) コミセン運営委員会  
出東小学校・斐川東中学校入学式
- 18日(木) コミセン喫茶
- 20日(土) 出東地区自治協会総会
- 23日(火) 健康づくりの会理事会
- 25日(木) 環境保全連合会理事会
- 10日~30日の毎週水曜日、あいさつ運動

## 2/26 (月) おかげできれいになりました。 出東小学校 6年生のみなさん

清掃活動のお礼



出東小学校6年生15人が、これまでお世話になったお礼にとコミュニティセンターを訪れ、館内外の清掃活動を行ってくれました。あらかじめ窓拭きや草取りなどの分担を決め、バケツや雑巾、ごみ袋などの用具を持参。引率の竹田先生の合図で、パートごとに手早く分かれテキパキと掃除に取り掛かりました。花壇周りの草取りをしてくれた生徒は、「コミセンで借りた草取りレーキを初めて使った。思った以上に草が取れた」と話していました。みんなの力できれいになったコミセンに、またいつでも遊びに来てください。ありがとうございました。



## 出東フォークダンス教室

ジャンルにこだわらない 様々な踊りを 楽しんでいます

サークルさん+ いらっしや〜い

一緒に 踊りましょう!



世界の文化に接するフォークダンスを中心に、日本伝統の民謡や歌謡曲に乗せて楽しく踊るレクリエーションダンスなど、いろいろな「踊り」を和気あいあいと楽しく学んでいます。もちろん頭の体操・健康維持にも最適です。

ここ数年コロナ禍で発表の場が少なく残念でしたが、また文化祭や福祉施設の慰問など積極的に参加したいと思っています。

メンバーは現在7人で、毎月第2・4月曜日の午前中にコミセンで活動しています。会費は月額1,000円。ただ今会員を募集中です。踊りが苦手な方でもOK、みんなで楽しく踊りましょう!

## The Voice

～皆さまからの声～

昨年春の「防災・減災春まつり」や夏のコミセンでの「たなばた会」には、大勢の人が出かけられて大いに賑わったと聞いています。そこで、コロナのためここ何年間か開催されなかった、「出東納涼夏祭り」を復活させるべきだと思います。これまでのイベントに参加したくても、自粛や出店数の制限などでできなかった人もいます。老若男女が集い、食べて、飲んで、催し物を楽しむことで出東地区を盛り上げましょう。(三分市 60代 男性)

皆さんの声を募集しています!!

### ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じて地域の福祉事業に活用させていただいております。

- 香典返し 金一封 面代 真樹 様(上黒目)
- 香典返し 金一封 植田 利夫 様(協生1)
- 香典返し 金一封 北脇 達秋 様(資生)
- 香典返し 金一封 飯塚 英真 様(宮組)
- 香典返し 金一封 荒木 悦子 様(沖洲前島)
- 香典返し 金一封 深津 光男 様(北島)

ご厚志誠にありがとうございました。



元気に遊びも勉強も頑張るぞ!

僕たち、私たち

## 4月から新1年生!

小学校に行くのが楽しみ♪

出東こども園の年長児「きりんぐみ」18名のみんなです。

## 出東こども園

この春には、3つの小学校へ元気に入学します。

困っているお友だちがいると助けてあげる、心優しい子どもたち。

1年生になっても、友だちを大切に、楽しく学校生活を送ってほしいです。

子どもたちは地域の宝です。みんなで温かく見守り、育てていきましょう。

(Vol.7)

人権 コラム

## 人権について 考えてみよう

ふるさと

「ふるさとをかくす」ことを父は

けものような鋭さで覚えた

ふるさとをあげられ

ふたたびかえらぬ友がいた

ふるさとを告白し

許婚者に去られた友がいた

わが子よ

おまえには

胸張って

ふるさとを名のらせたい

瞳をあげ

何のためらいもなく

「これが私のふるさとです」と

名のらせたい

(丸岡忠雄・作)

この詩は「ふるさと」の同和地区の現実を父親の立場から詩にしたものです。この詩を読んでどんな感想を持ちましたか?

12月2日 土

## 石材梱包材をリユース 廃材でDIY教室

自主企画事業/環境部

廃材を使ったDIY教室が開催され、親子4組を含む24名の方が参加しました。

事業を始めるに当たり、部長の古川幸希さんからDIYに必要な工具の説明を受け、参加者は使い方や工具の特長など熱心に聞いていました。その後「今回使用する木材は海外から石材の梱包に使われていたものを加工し、プランターカバーとして再利用するもので、玄関を華やかに飾ってほしい」との話がありました。

作り始めると初めて使う電動ドリルに四苦八苦の様子でしたが、慣れてくると電動ドリル楽しい!という声も挙がるようになり、あっという間に組み立てが終了。最後に木の保護剤の塗料を塗り、おしゃで素敵な作品が完成しました。

参加者は「自分で作ったので愛着がわき、大切に使う」と満足そうに話していました。



1月5日 金

## 上手に書けたよ! 新春書初め会

出東地区青少年育成協議会



新春書初め会がコミセン集会所を会場に開かれました。植田義久会長のあいさつ後、小学3年生から6年生まで10名の参加者は、保寿寺の藤岡牧夫さんと由理子さんご夫妻の手ほどきにより、真剣な表情で課題に向かい筆を丁寧に走らせていました。

子どもたちは大きな筆にたっぷり墨汁を浸し、思い切りのいい字で各々の作品を次々と仕上げていました。「おとし玉」「日本は未来の夢」「強い意志」「進む勇氣」「新しい門出」「世界の平和」など、明るい言葉と書の力強さ、半紙に向かう真剣なまなざしにパワーをもらい、良い一年のスタートとなりました。

1月20日 土

## 「空き家セミナー」を熱心に受講

自主企画事業/企画広報部

全国的に問題となっている空き家にスポットを当てたセミナーが、出東コミュニティセンターで開かれ、25名が熱心に受講しました。

第1部は「みんなで考えよう!住まいの終活セミナー」をテーマに、NPO法人出雲市空き家相談センター事務局長の本常徹さんを講師に、空き家にかかわる全般について寄せられた相談内容などについて解説。中でも所有者から「空き家ではなく留守宅だ」と言い張られるケースもあり、責任を負わない親族が多いことが紹介されました。

令和2年の統計によると、出東地区では32軒の空き家が確認されているが、実際はさらに多くの空き家が存在し増加傾向にあると説明。講師は、所有不動産の地目を知ることや、次の世代に伝えることなどが住まいの終活を考える上で大切と強調していました。

第2部は「知ってきたい!相続・土地にまつわる法律の話」をテーマに、同相談センター会員で司法書士の塩野真弓さんが、今年4月から義務化される相続登記の内容を中心に、分かりやすく説明。受講者は身近な問題として真剣に受け止めていました。



## 出雲国風土記にも記される 都牟自神社

●斐川町福富 133番地 ●金築 宇宮司



都牟自神社は、出雲国風土記にも見える漆治郷にあり、神魂命の御子、天津積祖可美高日子命の御名を薦枕志都沼值命といい、主祭神として祭られている。



▲武内宿禰命像 長寿の神様 (武内神社)

## 出東歴史散歩 Vol.8

この神がこの郷(福富・皆美・黒目・中ノ須)を開拓し、人々が安楽に暮らすことができるようにご照覧なされ、お護りになった神として厚く崇敬されてきた。

なお、16世紀出雲地方を領有した尼子経久がその氏神、月山富田八幡宮の御分霊を勧進し合殿する。今ひとつの合殿は稚日女(わかひるめ)神社で、祭神は大日靈貴尊(天照大御神と同一)である。また境内には、大年神社・大船神社・稲荷神社の境内社がある。



保存会による獅子舞奉納



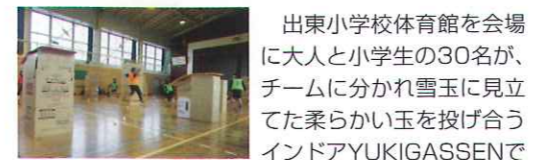
子ども番内

毎年10月に行われる例大祭では、カラオケ大会や餅まき、獅子舞奉納などの催しがあり多くの参拝者で賑わう。

1月21日 日

## 白熱した攻防戦を展開! インドアYUKIGASSEN

自主企画事業/子育て部



出東小学校体育館を会場に大人と小学生の30名が、チームに分かれ雪玉に見立てた柔らかい玉を投げ合うインドアYUKIGASSENで楽しみました。

選手宣誓の後、出東バージョンにアレンジしたルールを説明、5名1チームとなり6チームに分かれリーグ戦で対戦。各チームは戦法を練り、段ボールの壁に隠れ相手の出方を見ながら果敢に相手コートに飛び込み、風船ペットボトルを狙いにきました。相手チームも必死に雪玉(もどき)を当てにいき、熱い攻防戦が繰り広げられました。

声援や熱気で汗をかくほど盛り上がり、参加した小学生の一人は「みんなと楽しくできたので、また来年も参加したい」と抱負を語ってくれました。



祝

## 交通安全章緑十字銀賞を受賞 古川好美さん

このたび、出雲市交通安全協会出東支部の前支部長で、現在顧問の古川好美さん(黒目新田自治会)が、交通安全の功により交通安全章緑十字銀賞を受賞されました。交通安全章は、警察庁長官と全日本交通安全協会会長の連名による全国表彰で、「緑十字銀賞」は県内では2人が選ばれ、1月に行われた交通安全国民運動中央大会(東京都)で、緑十字銀章と緑十字金章の方の表彰が行われました。

古川さんは、20年以上にも亘り地域の交通安全活動に携わってこれ、過去には出東地区の全自治会を回り交通安全の啓発活動や、危険箇所などの要望や意見交換を行うなど、精力的な取組が評価されたものです。また反射材を使った夜間視認距離のテストを地域で行うなど、工夫を凝らした活動内容は他地区の「火付け役」として、町内各地に広がっていきました。

古川さんは「地域全体で受賞したものだと思う。今後も微力ながら地域の交通安全活動に携わっていきたい」と抱負を語ります。



## おじゃまします Vol.8

出東のお仕事拝見!

### からだに優しく食の安全にこだわる 自然食品の店 素然

県道沿いにある三宅墓の少し西側に青色の暖簾が掛かった屋敷が目につく。一見料亭と見間違えそうな築95年という古民家の立派な門をくぐり、玄関の土間に足を踏み入れると、食品から日用品、衣料などあらゆる商品がずらりと並び、店主の三宅真樹さんは、東京で従事した営業の仕事の辞め、2009年出雲市小山町で自然食品の店「素然」をオープンさせ、5年後の14年自宅に店を構えた。開業のきっかけは店主が幼少の頃、父親が松江市内の病院に入院していた時に市内で自然食品の店を経営している同僚の男性の話を聞くうちに感化されたという。昨今の健康志向の高まりもあり、全国から関心のある方が訪れる。取材中も問い合わせの電話が何度か鳴った。「体にいいというだけでは駄目。美味しい方がな



良い」と、全国から仕入れる品の吟味もしっかり。「たくさんお客さんが来られると嬉しい反面、かえってお客さんに迷惑が掛かる」と控えめだが、「食の安全は常に考えています」ときっぱり。店内には、安来市の作家による猫の漆喰レリーフが壁に描かれており、思わず目を引き付ける。

猫のレリーフを探してみるのも楽しい 所狭しと商品が並び店内

INFORMATION

**自然食品の店 素然**

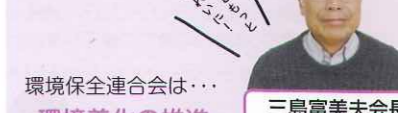
●斐川町中洲1134 ●TEL/FAX 0853-25-7855

●定休:月曜 ●営業時間:10時~18時半

コラム

## 地域のために頑張ってます!!

### ポイ捨てがなくなる出東を目指して 出雲市環境保全連合会 出東支部



- 環境保全連合会は...
- ・環境美化の推進
  - ・地球温暖化対策の推進
  - ・ゴミ減量化・再資源化の推進
  - ・自然環境保全の推進
  - ・水環境保全の推進
  - ・環境教育・環境教育の推進
- を主な目的として活動を行っています。

代表的な活動として、身近な環境をきれいに、ゴミのない町づくりを目指し、毎年10月末に「荏原・出東一斉クリーン大作戦」を行っています。この活動は今年度で11年目となります。昨年度もたくさんの方々にご参加いただきました。

年々ポイ捨てごみが減っている地区もあれば、大きな道路沿いなどはまだまだポイ捨てごみが多く落ちている状況もあります。

出東地区が「ポイ捨てができない環境」となりますよう、今後もご協力をお願いいたします。



毎年恒例となったクリーン大作戦



◆ ◆ ◆